

◇ 茨城大学「県内高校生の学長室訪問」参加

日 時 ○ 令和4年8月4日（木） 9：45～11：45
場 所 ○ 茨城大学 学長室 およびライブラリーカフェ
参加者 ○ 本校2・3年生（3年生4名・2年生1名）

👉 この度、茨城大学 太田 寛行 学長からのお招きを受けて、本校生5名が茨城大学の学長室を訪問することになりました。この企画は、太田学長先生の「高校生が普段どんな学びをしていて、その学びの中から、今どういう興味が湧き、進学や将来をどう捉えているのか」について高校生の生の声を聴きたいとの要望を受けて実現したものです。ただし引率する教員2名も含め、大学の学長室に入った経験がある者は（もちろん）おらず、往路のバスの中は異様な（？）緊張感に満ちていました。

そして、いざ茨城大学に到着し学長室へと招じ入れられると、学長の太田先生のみならず、理事・副学長の佐川泰弘先生をはじめとする各学部長もしくは代表の先生方、そしてアドミッションセンター長の柴原宏一先生など、錚々たる方々が勢ぞろいでした（われわれの緊張も最高潮に達しました）。



しかし、太田学長さんが率先して「話しやすい」雰囲気を演出してくださったこと、そして各先生方が生徒の質問に応じて適宜回答をくださったこともあり、程なくして和気藹々とした空気感が生まれ、生徒たちからも次々と活発な質問が出ていました。

👉 その後は場所を移して、茨城大学理学部のチームが中心となって研究し、命名された「チバニアン」（地球磁場のN極とS極が最後に逆転していた、約77万年前に始まる地質時代）についての説明を受けた後、ライブラリーカフェにて美味しい飲み物とケーキをいただきながら、生徒たちは各教授の先生方とさらに親しくお話をさせていただきました。

一言でいって、これほど贅沢な時間があるだろうか？ という経験をさせていただくことができたと思います！



👉 帰りのバスの中でも生徒たちは興奮冷めやらぬ様子 … しばらくの間は各々の感想を披歴しあっていました（これは引率した教員も同様です）。

ご多用のなか、こうした貴重な機会を設けてくださった太田学長をはじめとする茨城大学の先生方に対し、改めて御礼を申し上げます。ありがとうございました。



<生徒の感想から>

R4 高校生の学長室訪問（茨城大学）事後アンケート

設問 1 今回の事業は、あなたにとって有意義なものとなりましたか。



回答数 5



選択肢 1	5人(100%)	大いに意義があった。
選択肢 2	0人(0%)	意義があった。
選択肢 3	0人(0%)	どちらとも言えない。
選択肢 4	0人(0%)	あまり意義を見出せなかった。
選択肢 5	0人(0%)	意義を見出せなかった。
未回答	0人(0%)	

設問 2 今回の事業に参加した感想を述べてください。

- 茨城大学の特色と学びたい学問についての知見を得ることができて良かった。
- 普段関わることのない方々と話して新しい視点を持つことができました。
また、このような機会がもっとあると良いと感じました。
- 自分の興味のある学部以外の話が聞けたおかげで、自分の世界が広がりました！ また、自分が志望している農学部の教授の方にいろいろな話を聞けたのがとても嬉しかったです。これからの勉強のモチベーションになりました！ 貴重な体験をありがとうございました！
- オープンキャンパスでは聞けなかったお話や自分が志望する以外の学部の方のお話を聞くことができ、とても有意義な時間を過ごす事が出来ました。また、学長さんとお話したことで茨城大学について深く知ることが出来ました。このような機会に参加させて頂きありがとうございました。
- 沢山の大人の方々に囲まれて自分の話をするのは緊張しましたが、学長さんをはじめ皆様が優しく丁寧に質問に答えて下さったので話しやすかったです。貴重な体験の場を設けていただき、本当にありがとうございました。